

(1) 学習のねらい

元軍と幕府軍の戦法や兵力の差を知り、一回目の文永の役で幕府軍の勝利は無謀と知りながらも御家人は戦に行った理由を考えた子ども達が、命を懸けて奉公したのに御恩である領地を納得できるほどもらえなかったことを通して、御恩と奉公の関係が崩れて幕府の力が弱まっていくことに気づき、二回目の弘安の役で自分が御家人だったら戦に行くか否かについて選択し、その理由も考えることができる。

(2) 本時の学習材

○子ども達は、一回目の襲撃で幕府軍の勝利は無謀であると知りながらも御家人は戦に行った理由を、御恩である領地が欲しいから戦ったと考えるだろう。その意識を捉えたところで学習材を提示する。

○本学習材は、「一回目の襲撃で納得できる御恩がもらえなかったこと」である。この事実を知った子ども達は、御恩と奉公の関係が崩れて幕府の力が弱まっていくということに気づくことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握		学習問題 幕府の力が弱まっていく理由はどこにあるのだろうか？		・パワポを用いて復習する。 ・子どもの疑問を整理することで、学習問題の本質を理解できるようにする。
	1 前時の復習 (①承久の乱で幕府の結束力強化、②朝廷と幕府の違い、③御家人とは何か、④土地の重要性)	・北条政子が御家人をまとめてたな。 ・朝廷と幕府は別なんだね。 ・御家人は家来の武士なんだね。 ・土地は分割相続だったの？兄弟が増えるとどんどん減っちゃうじゃん。 ・そりゃもっと領土が欲しくなるな。	10	○当時の武士にとって、土地が相当の価値があることを再確認する。
	2 元の基本情報を知る。	・領土拡大なんて欲張りすぎだよ。 ・日本も侵略すること目的じゃなか。 ・使者を送っていたんだね。 ・時宗さんは、何で使者の要求を跳ね返したの？	3	・子どもが、元が攻める前に使者を出していたことに着目したら、事実を述べるにとどめる。
	3 元と日本の兵力の差を知る。	・日本の3倍以上の軍じゃん！勝てないよ。 ・“てつはう”でしょ？知ってる。 ・“毒槍”とか怖っ！	3	・写真を見せながら説明する
展開	4 一回目の襲来時に、御家人が戦った理由を考える。	○領土が欲しかったからでしょ？ ・領土ほしくても、命をささげる必要ないんじゃない？命が一番大事！ ・だって、当時の武士にとって領土は命より大事な物だったんじゃないかな。 ・元の土地を日本も欲しかったのかな。	7	・「命の方が大事」という考えが出たら、あくまで「奉公のために戦に行った」という事実があることを述べる。

終末	5 学習材の提示。	・ ええー！なんで領地がもらえないの？ ・ 幕府の裏切りじゃん！ ・ せっかく命を懸けたのに…幕府の信用が無くなっちゃうね。	2	学習材 一回目の襲撃で納得できる御恩がもらえなかったこと。
	6 学習課題提示。	学習課題 もし自分が御家人だったら、二回目の元寇戦に行く？いけない？	1	・ 領地がもらえない理由を言われたら、外国からの侵略なので新たに土地を獲得したわけではないから与える土地がない、と事実を答える。
	7 各自で考える。	・ 行くわけじゃないじゃん！領地ももらえないんだし。 ・ 行きたくないけど行く。日本が元に侵略されるのは嫌だし…。 ・ 日本を守るためには戦うしかないな。	5	・ 机間指導をしながら、全員が内容を理解できているかを確認する。
	8 班で伝え合う。	・ 行っても意味ないでしょ？だってこっちは命がかかってるんだから！	8	・ 全ての考えを否定しない。 ・ 正解はないことを伝える。
	9 まとめと振り返りを記入。	・ 御恩と奉公が崩れていくと幕府はもうだめだね。 ・ 将軍は恨みを持つてる御家人の誰かに殺されそう。 ・ 元のせいで崩れたのもあるけど、御恩と奉公という関係そのものがよくないのでは？（ご褒美がないと戦えないの？）	6	評価 二回目の弘安の役で自分が御家人だったら戦に行くか否かについて選択し、その理由も考えることができる。（ノート、発言）